

【タイトル】 約束の場所

【概要】

令和6年の自死数の発表があつて以来、新聞に様々な困難を抱える子供たちの記事が掲載され続けています。少子化にも拘わらず増える子供達の自死人数。

虐めやヤングケアラーだったり、それぞれが抱えた苦しくなる内容が記事になっています。

大人でも生き辛いと感じる人が多い今、まだ狭い世界の中しか知らない子供たちの苦悩は計り知れないのではないのでしょうか。

生き方はいろいろあるよ。まだ気が付いていないだけ。自分一人の力で生きている人なんていない。荷物が重い時は誰かの力を借り、重い荷物を持った人がいれば一緒に担いであげよう。みんなで楽になろうよ。

人と人との絆、すべての人の心に宿る神との絆。

子供たちの心をほぐし、光を見いだせる一助にならないものかと、宿題で書いた作文以来の長い文章に挑もうとしています。締め切り時間に間に合いそうにありません。

【想定する読者ターゲット】

- ① 小学校高学年～中学生
- ② 家族や友人との人間関係に悩む子供
- ③ 自分の未来を悲観している子供
- ④ どこかに光を求めている子供

【構成案】

第1章 その苦しみはどこから？

- ・しんどいね、分かるよ
- ・逃げてもいい

第2章 人との比較を手放そう

- ・学びはすべての人にある
- ・学びの内容は人それぞれ
- ・選んだ学びを受け入れる

第3章 大人も親もみんな学びの途中

- ・大人も完ぺきではない
- ・考え方で楽になろう

第4章 あなたを守りたい大人がいる

- ・心に耳をかたむける
- ・絆をあきらめない
- ・絆を受け入れる

第5章 約束の場所

- ・幸せになる義務
- ・ひと時も見放さない
- ・大丈夫、最強の絆があるから

【サンプル原稿】

約束の場所

第4章 あなたを守りたい大人がいる

絆をあきらめない

あなたもこの地球を構成する大切な命の持ち主です。他の誰も成りえることのできない宝物です。

□もしあなたの荷物が重すぎたら声を上げてみてください。大人もまだまだ未熟なので、もしかすると最初の人には解決できない事かも知れません。でもあきらめないで別のところで声を上げてみてください。宝物を守ろうと気にかけて心配してくれる人が必ずいます。解決に向け一緒に考えてくれる人が必ずいます。その存在を頼ってください。絆が感じられるようになったら心が強くなった実感が持てるでしょう。

時間切れです。

[以上となります。よろしく願いいたします]